16; microphyllus (小葉ノ) 15; nipponicus (日本ノ) 15; sachalinensis (樺太產ノ) 14; tomentosus (綿毛ガ密ニ生エタ) 14; purpurascens (紫色ガカツタ) 12; hortensis (庭ニ生エル) 11; leucanthus (白色ノ) 11; Maximowiczii (マキシモウイツチ氏ノ) 10; nanus (矮小ナ) 10.

以上ノ結論ト云フ程デモナイガ、種名ヤ變種名ノ意味ヲ覺エル最モ要領ノヨイ近道トシテ先ヅ今回掲ゲタ若干ノ單語ヲ記憶スル事ヲオ奬メスル。コレダケデモ既ニ「總覽」ニ現ハレル種名ノ 1/4 强ヲ征服シタ事ニナル。次ニ接頭語ヲヤツテアト少シ頑張ルトデキニ半分位ハ我物トスル事ガ出來ル。種名用ラテン語ヲ覺エル事ハ案外趣味ノアルモノデ有用サニ至ツテハ測リ知レナイモノガアル。アマチユアノ方々ニモオススメシタイ所以デアル。

(伊　藤　　洋)

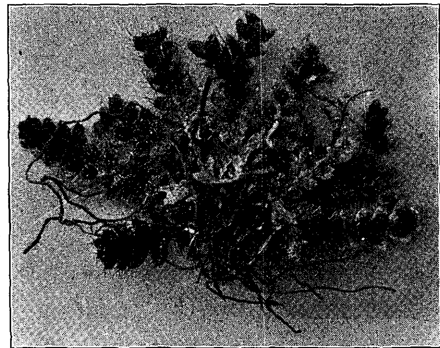
○榛名山ニ產スル二三ノ植物ニツイテ

上州榛名山ノ植物ニツイテ昨年カラ研究中ノ所二三ノ事實ヲ知リ得タノデ誌上ノ餘白ヲ借リテソレ等ヲ一マヅ報告スルコトトシタ。種々ト御指導下サツタ本田博士ニ誌上ヲモツテ厚ク御禮申シ上ゲマス。尙新種植物ニツイテハ既ニ本田博士ガ本誌第十一卷第八號ニ發表サレテ居ルカラ併セテ御覽下サイ。

1. おほくぼしだ (*Micropolypodium Okuboi* HAYATA) 榛名山ニ產ス

本種ノ產地北限ハ長イ間箱根山ト思ツテ居タトコロ、昨年六月二十四日榛名山ノ一峰ニ登山中數株ヲ見、更ニ十月十四日ニハ他ノ一峰ニテ相當ノ數量ヲ實見シ再度採集スルコトガ出來タ。ヨツテ記シテ產地限界北進ヲ御知ラセスル次第デアル。或ハ今後上州邊ノ諸地ニ於テモ逐次本種ガ發見サレルノデハアルマイカ?　諸賢ノ御探索ヲ御願ヒスル。

寫眞ハ實物ノ倍大近ク大キク寫シテアルガ、實際生育シテヰルモノハ株徑 40m.m. ヲ出デナイ。



おほくぼしだ　榛名山　昭. 9. 6. 24. (なかむら)

2. たかはらのがりやす (*Calamagrostis scaberrima* HONDA) 第二ノ產地

本種ハ昭和六年十月十八日關本平八氏ガ野州鹽谷郡高原山ノ中腹ニ於テ初メテ採集シ、本田博士ニヨツテ上記ノ如ク命名サレ、本誌第九卷第一號ニ於テ發表サレタモノデアルガ、余ノ採品中ニモ本種ガアツタ。採集場處ハ榛名湖畔ノ草原デアル。本田博士ノ御話ニヨツテ本種ノ第二ノ產地デアルコトガ知レタ。

3. あづまつめくさ (*Tillaea aquatica* L.) 榛名湖畔ニ產ス

關東平野ノ田間濕處ニハアマリ珍ラシクナイ草本デアルガ、コンナ山上ノ湖畔 (1080 m.) ニアルトハ面白イト思ツタノデ、本種ノ和名ノ命名者デアル牧野富太郎先生ニ東京植物同好

會ノ席上デ御話シ申シ上ゲタトコロ、同席ノ久内清孝先生トトモニ或ハ他品トノ間違ヒデハアルマイカト色々御指導下サツタノデ、本田博士ニ標品ノ鑑定ヲ御願ヒ致シマシタ結果ヤハリあづまつめくさデアツタ。誌上ナガラ牧野先生、久内先生ニ御禮申シ上ゲマス。

(酒井忠壽)

○やくしまねつたいらんノ分布ソノ他

やくしまねつたいらん (*Tropidia nipponica* MASAMUNE) ハ正宗嚴敬氏ガ植物學雜誌第43巻249頁デ屋久島ノ特産トシテ發表サレタ種類デアル。其後同氏ハ産地トシテ薩摩海門岳ト四國トヲ擧ゲラレタ。從ツテ分布範圍モ相當ニ擴大サレテ今更コヽニ追加スル要モナイ樣デアルガ、近頃土井美夫氏ガ薩摩ノ海上ニアル甑島デ採集サレタノヲ送ラレテ知ツタノト、近年數年ニ亙ツテ大隅志布志灣頭ノ枇榔島デ枇榔ノ生態學的研究ヲ續ケテ居ラレル東大理學部植物學教室ノ岡現次郎氏カラ同島デノ採品ノ一部ヲ見セテモラツタ中ニ一本 sterile デハアツタガ確カニ本種ガアツタノデコヽニ追加シタ。以上デ見ルト黑潮ニ依ル暖地ニハ夫々分布シテ居ルノガワカル。因ニ本種ハあこうねつたいらんニ似テ居ルガ花ハ小サイ上ニ殆ンド距ヲ有セズ、花穗ハムシロ織形狀ニ近イコトヤ苞ガ短濶デアル點デ明瞭ナ區別ガ出來ル。コノ屬ノモノハタトヒ sterile デモ莖上ニ鞘狀葉ノミガ着キ一見葉ガツイテ居ルト見エルノハ實ハ前記鞘狀葉ノ葉腋カラ出タ短枝上ノ葉デアルトイフ特異ノ形態デ他屬カラ判然ト判ル。

(前川文夫)

○てがたすみれ本邦ニ産ス

Viola dactyloides ROEMER et SCHULTES ハ淡紫花ヲ開キ葉ハ掌狀ニ五全裂シタすみれデアル。葉柄ニハさくらすみれ程デハナイガヤヽ長イ毛ヲ多數ニ生ジ、又葉身ハ葉面脈上ニ毛ガアル。元來 Amur カラ滿洲吉林省ヘカケテ分布スルモノデアルガ、今回北鮮咸北ノ北部 800-1000 m. 級ノ山地デ採集ヲ見タ。分布カラ云ツテモ當然デアルガ邦産トシテ新シイカラコヽニ書イテ置ク。猶コレハ山本肇氏カラ送ラレタ標本ニヨツテ判ツタモノデ、氏ノ友人ガ採集セシ由デアル。和名ハ北川政夫君ニ依ツタ。

(前川文夫)

Viola dactyloides ROEMER et SCHULTES, Syst. Veget. V: 351 (1819)—BECKER in FEDTSCHENKO, Fl. Asiatic Rossa VIII: 79 f. 18 (1915)

Nom. Jap. *Tegata-Sumire* (ex M. KITAGAWA)

Hab. Corea, prov. Kanhoku, in monte boreale. (Nova ad floram Japonicam.)

(F. MAEKAWA)